

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究に関するご質問、診療情報等を研究に利用または提供されることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先まで、お問い合わせ下さい。

研究課題名	思春期成人領域での百日咳の疫学の推計
研究責任者	呼吸器内科部長 合屋 将 (元) 第二呼吸器内科部長 山口 統彦
本研究の目的	思春期成人の百日咳の診断手段は凝集素価、抗百日咳菌毒素抗体価、PCR など複数の方法が並立していたため確立していない部分もある。思春期成人の百日咳について欧米では最も確立されている抗百日咳菌毒素抗体価のみに診断手段を限定して19年間蓄積した結果の集計から小児科以外の百日咳の流行状況を推計することは有意義と考えられる。
研究の方法 (対象者、利用する 試料、情報等)	今年2025年は初夏以降抗百日咳の異常な流行が確認されております。近畿中央病院においても咳症状で受診された患者様のうち担当医が適切と判断した方については百日咳の検査を行った場合があります。百日咳は小児科領域の疾患と思われる方も多いとは思いますが、2000年前後から各種論文で小児科領域以外でも百日咳が存在し、ワクチン免疫がまだ不十分な乳児への感染源となりうる可能性なども指摘されております。 今回近畿中央病院は市立伊丹病院との合併によりその名称がなくなってしまうますが、これまで診療してきた結果について社会に貢献できる部分は残したいという思いも職員には強くあります。 2025年初夏からの百日咳の異常な流行について過去と比較して特別に多いのか以前からこのような事態があったのか、百日咳の検査を受けられた方々の検査結果を集計すれば何らかの答えが得られるかもしれません。 検査結果は“何千人集計して何百人陽性であった“という書き方になりますので、患者様の方々にプライバシーにかかわることはないと思われます。ただし学術への貢献を目的とする意図であっても、患者様方の検査結果は患者様方のものでありますので、自分の検査結果を集計に使われたくないという方がおられましたら、病院事務までご連絡いただけましたらそのかたの結果を除外したうえでの学術発表とすべきと考えております。 とりいそぎ学術発表の集計を始める前に患者様方へのお伺いを立てるべきと考えこの掲示となっております。

試料、情報等の他研究機関への提供及び提供方法	なし。
研究期間	対象期間：２００７年１月から２０２５年８月
個人情報の取り扱い	「研究の方法」欄を参照。
本研究の資金源及び利益相反	なし。
お問い合わせ先	公立学校共済組合近畿中央病院 呼吸器内科 072-781-3712(代)
備考	なし。